

# 令和3年度米子市埋蔵文化財センター事業報告書

## 1 管理業務の実施状況

### 1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供

- (1) 米子市等の考古資料を展示した常設展を開催して、原始・古代への関心を高めた。
- (2) 講座や講演会や考古学教室の実施により、原始・古代への関心を高めた。
- (3) 市内の史跡ガイドウォークの実施により、郷土の歴史への関心を高めた。
- (4) 体験教室、出前講座などを通して、見て、触れて、作って、古代への興味・関心を高めるよう努めた。

### 2 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究

- (1) 米子市が所有する考古資料や記録類を適切に整理し、収蔵保管した。
- (2) 新着図書、寄贈図書を整理し、データを登録して貸出・閲覧に供した。
- (3) 収蔵資料を貸出や研究利用に供し、資料の活用を図った。
- (4) 未報告の収蔵資料を再整理し、調査研究に努めた。

### 3 情報の発信

- (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。
- (2) ホームページで施設・行事情報、遺跡紹介を行った。
- (3) 「埋蔵文化財センターたより」を年4回発行し、情報提供に努めた。
- (4) 米子市等の発掘調査の最新情報を展示、発信した。

### 4 連携事業の促進

- (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。
- (2) 古代学習の受け入れ等、学校と公民館の連携を図った。
- (3) 山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館との連携を図った。

### 5 施設管理の充実

- (1) 前庭の植木や危険木の剪定、伐採、花壇の整備を行い、環境美化を図った。
- (2) 消火器・消火ホース・照明器具取替、水漏れ修理、キュービクルの外装塗装など施設設備の整備を図った。

## 2 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	参加者数(人)	内 容
<b>鑑賞事業</b>			
常設展 「米子の遺跡と発掘調査」	通年	469	遺跡や出土品を通して米子の遺跡や発掘調査の理解を深める展示を行った。
<b>教育普及事業</b>			
史跡ガイドウォーク 第1回「米子城ガイド」	<del>5/16(日)</del>	—	雨天中止
第2回「江尾城跡ガイドウォーク」	9/19(日)	20	江美城跡と江尾町の史跡ガイドを行った。
第3回「黒坂城と街歩き」	<del>11/7(日)</del>	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
発掘遺跡見学会 博労町遺跡現地説明	5/20(木) ～ 5/22(土)	55	博労町遺跡の見学会を3日間開催した。
福長下モノ原遺跡現地説明	9/9(木) ～ 9/11(土)	90	日野町福長下モノ原遺跡の見学会を3日間開催した。
考古学教室 「米子城のペーパークラフトを作ろう」 「米子城の瓦の拓本を採ってみよう」	<del>8/7(土)</del> <del>8/8(日)</del>	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
考古学講演会 第1回「米子城跡について」	<del>9/11(土)</del>	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第2回「米子城出土の陶磁器」	10/16(土)	10	米子城跡出土の陶磁器について講演会を実施した。 講師：米子市文化振興課 佐伯氏 会場：米子市文化ホール研修室
第3回「国宝松江城について」	11/13(土)	20	国宝松江城について講演会を実施した。 講師：元松江城国宝化推進室長 ト部氏 会場：米子市文化ホール研修室
<b>連携事業</b>			
学校連携 インターンシップ受け入れ	—	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
教員初任者研修受け入れ	8/6(金)	4	教員の研修を受け入れた。
尚徳小学校古代学習受け入れ	—	—	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
地域連携 公民館研修の受け入れ	11/17(水)	44	南部地区公民館研修を受け入れた。
米子市歴史館3館連携事業、令和3年度地域文化総合活用推進事業(地域文化遺産・世界文化遺産) 「第2回法勝寺電車廃線跡ウォーク」	10/2(土)	119	法勝寺電車廃線跡を辿り、鉄道遺産並びに沿線の文化遺産を紹介した。

事業名	開催・実施期間	参加者数 (人)	内 容
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団カルチャー・ フェスティバル2021  「勾玉づくり」  「財団施設紹介&クイズラ リー」	11/6(土)  11/2(火) ～ 11/7(日)	(2,568)  (48)  (366)	当財団が管理・受託している各施設が特色のある ワークショップを実施した。 会場：米子市立図書館及び米子市美術館前エント ランス広場 創作・交流広場  会場：米子市立図書館2階市民ギャラリー
鳥取県ミュージアムネットワー ク	通年	—	県内博物館のネットワークへ参加し情報の交換を 行った。
調査研究・保存・活用			
調査研究・整理保管	通年	—	寄贈図書・資料、米子城跡枳形・三の丸、川向遺 跡ほか資料の調査・整理・研究・保管を行った。 2,700点
収蔵品貸出	通年	18	収蔵品や写真を古代出雲歴史博物館、荒神谷博物 館等へ貸出した。貸出18施設
収蔵品等研究利用	通年	25	大学研究機関、調査研究者等の収蔵品調査・実見 に対応した。20件
図書・報告書貸出	通年	11	研究者・市民への図書等の貸出
施設・設備利用	通年	259	研究会・研修会等での施設・設備利用 4件
情報提供事業			
埋蔵文化財センターたより発行	年4回	—	調査情報や遺跡の紹介やイベント情報の提供など を行った。
埋蔵文化財センター発刊物	3/31(水)	—	埋蔵文化財センターの年報を発刊した。
ホームページ	通年	—	ホームページを更新し、施設イベント情報やセン ターたよりを提供した。
図書等販売	通年	—	「上淀廃寺の美」、米子城ペーパークラフト等を 販売し、収入の一助とした。
合計		1,144	( ) の人数は除く

### 3 施設の利用状況

#### (1) 利用者へのサービスの向上

- ア. 常設展示の入れ替えを随時行い、展示の充実を図った。
- イ. 資料閲覧や資料・図書の貸出を速やかに行い、利用者の利便を図った。
- ウ. アンケート箱を設置し、利用者要望の把握に努めた。

#### (2) 施設の開館状況

開館日数	244日	常設展入館者数	469人
		事業ほか参加者数	362人
		施設設備利用者数	313人
		合計数	1,144人

### 4 収入実績

項目	収入額 (円)	備考
事業収入	7,000	自主事業資料代
雑収入	42,800	冊子売捌
合計	49,800	